

道の駅アリストぬまくま再整備事業

道の駅アリストぬまくまは1996年に旧沼隈町が設置した福山市唯一の道の駅で、新鮮な魚介や野菜が並ぶ自由市場、ハーブガーデン、地元食材を楽しめるレストランなどが親しまれてきました。周辺には鞆の浦や阿伏兎観音などの観光資源や多様な産業が集積しています。一方で老朽化や駐車場不足が課題となる中、鞆未来トンネル開通や国の第3ステージ応援パッケージ選定を契機に、「地域振興」と「観光振興」の両輪により、南部地域の拠点を目指すこととしました。

コンセプト・ターゲット

タイケン、ハッケン、極上ぬまくま

～ひと（生産者・消費者）・もの（産業）・こと（体験）を育む福山市の南の玄関口～

足元需要 × 観光需要

再整備に際しては、足元需要の継続的な獲得に加えて、インバウンドも含めた「観光需要」の獲得も重視していきます。

導入機能

道の駅の
基本機能

+

- 地域振興機能
…子育て支援スペース、図書館との連携等
- 観光・体験機能
…サイクリングとの連携、特産品コーナー等

スケジュール

	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
基本計画	12カ月				2029年 10月
基本設計 実施設計		新施設設計 12カ月	解体設計 6カ月	プレオープン	←リニール オープン
再整備	新施設建設		24カ月		
	既存施設 解体			3カ月	
	外構・ 駐車場整備				3カ月

